

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第1区分

【発行日】令和3年8月12日(2021.8.12)

【公開番号】特開2020-196649(P2020-196649A)

【公開日】令和2年12月10日(2020.12.10)

【年通号数】公開・登録公報2020-050

【出願番号】特願2019-104303(P2019-104303)

【国際特許分類】

C 04 B 38/00 (2006.01)

A 61 F 2/28 (2006.01)

A 61 L 27/10 (2006.01)

A 61 L 27/56 (2006.01)

【F I】

C 04 B 38/00 303Z

C 04 B 38/00 304Z

A 61 F 2/28

A 61 L 27/10

A 61 L 27/56

【手続補正書】

【提出日】令和3年6月29日(2021.6.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

気孔を有するセラミックスであり、

前記気孔として開気孔と閉気孔を有し、

前記開気孔として、孔径20～600μmの範囲内にある大径の開気孔と、孔径1.0μm以下の範囲内にある微小径の開気孔とをそれぞれ多数有し、

前記セラミックスの全体に亘って、実質均一に前記大径の開気孔が分布し、

前記気孔に占める前記開気孔の割合が80%以上である、

ことを特徴とする多孔質セラミックス。

【請求項2】

気孔率が40～90%である、

請求項1に記載の多孔質セラミックス。

【請求項3】

前記気孔として、さらに孔径1.0超～10.0μmの範囲内にある小径の開気孔を多数有する、

請求項1に記載の多孔質セラミックス。

【請求項4】

セラミックス原料及び気泡助剤を混合して混合物を得る工程と、

前記混合物に気泡剤を添加して気泡形成体を形成する工程と、

前記気泡形成体を焼結して、開気孔を多数有するセラミックスを得る工程と、

を有することを特徴とする多孔質セラミックスの製造方法。

【請求項5】

前記混合物は前記セラミックス原料100質量部及び前記気泡助剤1～200質量部を

混合して得るものである、

請求項4に記載の多孔質セラミックスの製造方法。

【請求項6】

前記気泡助剤が、セルロースナノファイバー、及び平均纖維幅0.5～50μmのセルロース纖維の少なくともいずれか一方である、

請求項4に記載の多孔質セラミックスの製造方法。